

<確定稿>

第6回 千代田区公園・児童遊園等整備方針検討会

議事要旨

日時	令和6年11月1日（金）9時30分～11時00分
会場	千代田会館 10階 会議室
出席委員	5名
議題	整備方針の改定について

議事要旨

- 開会
- 議事要旨の確認
- 整備方針の改定について
- 意見交換

資料説明（事務局より）

整備方針の改定について

- 資料4に基づき、第5回検討会の議事要旨について説明
- 資料5に基づき、第5回検討会における委員指摘対応について説明
- 資料6、7に基づき、千代田区公園づくり基本方針（素案）及び概要版（素案）について説明

意見概要

① 本編の表現について

- 全体的に、「役所がニーズを把握して、区民の要望に応える。」といったトーンで語られているため、「区民と一緒に作っていく、一緒に考える、アイデアを活かす。」など、住民参加の拡大や協働といった観点から、文章を記載したほうが良い。
- 行政が区民の要望を聞いて対応するのではなく、「一緒に考えながらやっていく。多少のトライアンドエラーはあっても、継続的にやっていく。」この辺りのニュアンスが伝わるようにしてほしい。
- 基本的な考え方の解説文章中にある「利用する人自身がルールを守る、規範意識が大切」については、重要なポイントであると考えられる。
- 概要版のように、本編にも見出しを加えると主体がはっきりして伝わりやすい。

② 概要版について

- コンセプトや理念、方針の部分を記載したほうが良い。さらに、本編と同様に、区民が言えばそれに応えるといった印象にならないようにして工夫してほしい。
- 子どもたちに届けたい気持ちやメッセージ性が欲しい。デザインも、子どもたちでも見たいと思ってくれるようなものにしたい。
- 概要版と本編について、表現の整合性をとってほしい。
- 小学校低学年の子どもたちも読めるように、ふりがなを振ってほしい。

③ その他

- 今回収集した数多くの調査結果を今後の活用で利用する際には、単純に要望のデータ数

<確定稿>

が多いものの整備を行う、遊びの選択肢を増やすのではなく、自然に関心が低ければ、もっと自然に親しむ機会をつくるなどその先のニーズを読んだ整備をしてほしい。

- 「自然遊び」など言葉のイメージだけではなく、ソフトとしてどのように体験できるか、公園での過ごし方ができるかについて、少し具体的に示せると、今後公園の活用の可能性が広がると思う。
- 公園の民間委託が進み、自治体の技術力低下がある中、緻密な調査と社会実験を実施しながら方針をつくる今回のスタイルは先進的。技術職員とコンサルタントの力だと思う。広く紹介してほしい。

閉会